

第 14 回

市民と市長のタウンミーティング

報 告 書

○期 日 平 成 19 年 8 月 1 日

○会 場 中央コミュニティセンター

武 蔵 野 市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」、「双方向」で地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。この会は、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が会の企画・運営方法について協議し、協働して開催するもので、原則として議会月（3月、6月、9月、12月）を除く年8回開催し、2年間で市内のコミュニティセンターを一巡する予定です。

このたび、中央コミュニティセンターで第14回「市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告します。

概 要

1. 日 時 平成19年8月1日(水)
午後6時30分～9時15分
2. 場 所 中央コミュニティセンター
3. 主 催 武蔵野市・中央コミュニティ協議会
4. 参加者数 84人
5. 主催側出席者 市長 邑上守正
中央コミュニティ協議会委員長 井上政子
企画政策室長 南條和行
防災安全部長 堀井建次
環境生活部長 五十嵐修
環境生活部参事 三輪博行
子ども家庭部長 筒井敏晴
まちづくり推進課長 恩田秀樹
まちづくり調整担当課長 伊藤保彦
交通対策課長 中村永司
建築指導課長 小石原敏夫
6. 司 会 中央コミュニティ協議会運営委員 和久田純子
企画政策室市民協働推進課長 渡部敏夫
7. 内 容
第1部 お～いにディスカッション「私たちの好きな町は私たちで」をテーマとした意見交換を行った。
第2部 参加者にカードを配り、市政全般に関する意見等を記入していただいた。
そのカードを、第四期長期計画の施策の体系の分野(①健康・福祉、②子ども・教育、③緑・環境・市民生活、④都市基盤、⑤行・財政)に分類して模造紙に貼り出し、分野ごとに意見交換を行った。

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1)開会のあいさつ	1
(2)第1部「中央コミセンエリア地域のまちづくり」 をテーマとした意見交換(要旨).....	3
1. 安心・安全なまちづくり.....	3
2. 子どもから高齢者まで笑顔でらせるまちづくり.....	6
3. 住みよい環境づくり.....	9
(3)第2部 市政全般についての意見交換(要旨).....	13
①健康・福祉.....	13
・市長の発言.....	13
・障がい者福祉の充実について.....	13
②子ども・教育.....	14
・市長の発言.....	14
・0123施設の休館日について.....	14
・認証保育所にも兄弟割引を.....	14
・私立小学校児童の放課後の居場所について.....	15
・私立小学校児童を学童に受け入れることについて.....	15
・A型バリエードの管理について.....	16
③緑・環境・市民生活.....	16
・市長の発言	16
・犬の散歩のマナーについて.....	16
・公園の使用許可について.....	16
・災害時要支援者の情報について.....	17
④都市基盤.....	18
・市長の発言.....	18
・暴走自転車の取締りについて.....	19
・吉祥寺シアターの階段について.....	20
・三鷹駅北口の開発について.....	21
⑤行・財政.....	21
・市長の発言.....	21
・ごみの減量について.....	22
・公園の衛生管理について.....	22
・三鷹駅北口の開発について.....	22

(4)閉会のあいさつ.....	24
2. 参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針.....	25
①健康・福祉.....	25
②子ども・教育.....	25
③緑・環境・市民生活.....	28
④都市基盤.....	31
⑤行・財政.....	36
⑥その他.....	37

— 付属資料 —

第14回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆さん、こんばんは。

今日から8月ということで、ようやく梅雨が明けたらしいという気象庁の報告がありました。ただ、また台風が近づいてきておりまして、週末ごとに雨が降ったりして、うちの防災安全部も大忙しでございます。昨日、市役所西棟の増築工事の竣工式典を行いました。その中核施設が防災安全センターというものでございます。そこにはさまざまな新たな防災情報システムを組み入れておりまして、市民の安全を守る拠点ということで、きのうからスタートしております。

このところ毎週のように、そういう情報を集めながら、水害がないか等々見守っているところですが、まずは安全で住みやすい町、これを第一に考えなければいけないと認識しております。

さて、昨年1月から市民と市長のタウンミーティングを開催させていただいておりまして、今回で14回になります。これは市役所が一方的に出向いて開催するのではなくて、地元のコミュニティ協議会の



皆さんとともに運営していこうという取り組みでございまして、企画の段階からどのようなやり方でやりましょうか、どのような地域のテーマを取り上げていきたいと思いますかというのをご相談しながら、企画並びに運営をさせていただいております。この間、中央コミセンの協議会の皆さん、本当にありがとうございました。

そして、今日は2時間半というお時間をいただいておりますけども、ぜひ、今日出席された方々からいろいろとご意見をいただきたいのですが、このミーティングは大きく2つの部に分かれております。前半は、幾つかコミセンのほうで設定いただきましたテーマに沿って自由にご意見をいただき、なるべくそれについてお答えをしていくというやり方であります。

後半については、この地域に限らず武蔵野市全体でも構いませんので、皆さんが日頃からお感じの点をお手元に配付されております黄色いカードに書いていただいて、それを前に貼っていただいて、それをある程度まとめながら、意見交換をしていくということでございます。

当然のことながら2時間半という限られた中で、十分に時間がないというのはありますが、私どもとしては、今回いただいた意見は必ず持ち帰りまして、タウンミーティングの報告書を作成しております。当日出された意見についてはすべてここに記載をして、整理しております。

したがって、今日のやりとりの結果と、それから今日お答えできなかったことも含めて市の考え方について、一定の範囲でお答えするという報告書でございますので、これをつ

第14回タウンミーティング
H19.8.1開催・中央コミセン
開会のあいさつ

くりましたら、ぜひ皆さんにもお配りしたいと思っております。タウンミーティングというのもこれから継続的に考えておりますので、次回のタウンミーティングのときに、当日言った話はどの程度進んでいるのか等の確認も含めて、これからのまちづくりのきっかけとして、今日のタウンミーティング並びにこの報告書を使っていただきたいなと思っております。

今日は雨は大丈夫だと思いますけども、9時ぐらいまで、どうぞおつき合ください。よろしく申し上げます。本日は参加いただきまして、ありがとうございました。

【中央コミュニティ協議会委員長】

皆様こんばんは。中央コミュニティ協議会の委員長の井上と申します。どうぞよろしく



お願いいたします。今日は暑いのかな、寒いのかな、どっちかわからないような陽気ですが、貴重なお時間でございますので、有意義にこのお時間を進めたいと思います。あいさつは短く、そして意見交換は長くということで、私のあいさつは終わらせていただこうと思います。

今日は皆様のご意見を数多くいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 第 1 部「中央コミセンエリア地域のまちづくり」をテーマにした意見交換 (要旨)

1. 安心・安全なまちづくり

【ご意見】

昨年、大雨のため善福寺をはじめ大水があった。私の住んでいる吉祥寺北町 4 丁目というのはちょっと窪地になっていて、消防署の裏で、ポンプが二十数年前から置かれている。消防自動車はすぐに来てくれたが、ポンプを誰も作動させない。そのまま 30～40 分くらいたち、みるみるうちに床下 5 センチぐらいまで来て、大多数の家ではもう車が使えなくなってしまった。私の家はたまたまそれを察知して、すぐ退去して車を駐車場に入れて助かった。そのとき感じたのは、ポンプはだれが責任を持って動かすのか、それがはっきりしない。みんなうろうろして待つばかりで、消防署の方も何もできない。その辺の情報がないので非常に不安になった。その辺を、ぜひ意見を聞かせていただきたい。

【ご意見】

災害時における要支援者のネットワークの確立について。高齢化社会を迎え、町内会組織もない武蔵野市においては、地域ネットワークに網羅されていない独居高齢者、要介護者、障がいを持った方々など、災害時の要支援者が多くおり、今後も増加すると思われる。

幸いにして関東地区では大正 12 年、1923 年以來 84 年間大きな災害はなかったが、住み慣れた地域で安心して生涯を全うするためには、災害時における安否確認手段、避難時の支援体制の確立と維持、避難訓練、役割分担の明確化が重要だと思う。これらの確立と維持の受け皿は、地域福祉の会であり、受け皿には全市民の自発的な参加が必要だ。

一方、プライバシー意識が高まり、個人情報保護法への過剰反応により、個人個人がばらばらになっている状況で、マンションの管理人さえ居住者の把握が難しいと聞いている。個人情報はすべて行政に集まっており、今申し上げた体制の確立と維持のためには、行政と福祉の会、民生委員などが協力し、役割分担を明確にし、要支援者を個別訪問して、災害時の連絡方法につき、本人または家族の意向を聞く必要があると思う。また、これらの体制の維持には、誕生、死亡、転入、転出などの情報が、受け皿に提供される仕組みが必要である。



緊急性が高いため、要支援者ネットワークの確立をお願いしたが、だれもが年齢を重ねるのであり、社会の高齢化はますます進むので、住民の同意に基づき全家庭に緊急連絡カードが配布され、都市型の地域助け合いネットワークの確立が必要だと思う。

この面で、武蔵野市が全国に先駆け、模範を示してほしい。本件は市民の安全にかかわる事項であり、武蔵野市として、行政と地域の協力体制のあり方、個人情報の管理基準、地域福祉の強化について、早急に検討、実施いただきたい。

【ご意見】

この町は大変緑が多いが、その緑に対してのアフターケアが十分にされていないのではないかと大変不安だ。この前も一中の南前にある桜の木に太い東京電力の番線が絡んでいたが、木のほうは大きくなるので、線が中に入ってしまった。これ、どうなるんだと思って、市の担当のところへ行ってお願いし、早速撤去していただいた。

それから体育館のケヤキにも、ゼブラのビニールの幕が張ったまんま放置してあり、そこも食い込んでいたので、取ってほしいとお願いした。私は町の中を歩いては、そういった食い込んでいるような番線とかビニールのひもなどは撤去する、あるいはしてもらうようにしているが、数が多いので、今日参加された方も、気づかれたらば、緩めるとか、あるいは、広がるようなばね式に換えてもらうようなことを、市にお願いしてほしい。そうしていかないと、木は外へ外へと大きくなるので、くぎが打ち込んであったり、ビニールひもで縛っていると、全部巻き込んでしまう。ぜひ、市の職員の方に、自分は係じゃないというのではなくて、町を見て歩いて欲しい。文化会館の前に木があるが、この前、市の係の方は伐採しなきゃならないと言っていた。これは、支えが長期間にわたって触れていたために、木がその支えのところから先がだめになったからだ。そういうことが起こっているのだから、ぜひ皆さんで、樹木を助け、そして緑を多く残すために、協力していただきたい。

【市長】

まず、最初のご質問で吉祥寺北町の水害の件をいただきました。図書館の裏に窪地がありますね。市内にはそういう場所が幾つかあります。吉祥寺北町4丁目もそうかもしれませんが、北町1丁目にもかなり大きな範囲でそういう箇所があります。特に一昨年9月4日の大雨の影響がかなり大きかったということも踏まえて、水害のない武蔵野市を築いていかなければいけないと、この間さまざまな取り組みをしております。



既にご承知のとおり、市内小中学校の全校でこれから雨水を貯め、それを地下に浸透させていこうという取り組みをしております。この夏も四中と井之頭小に設置します。なるべく雨を下水に流さず、そこでためて地面にしみ込ませていこうという取り組みをしております。その取り組みを全市的にやっていると、なかなか水害がなくなりませんので、全市的に広げていきたいと思っております。

あわせて道路についてですが、基本的には道路に降った雨は全部下水に流れてしまうのですが、実は市の面積の15%は道路ですので、なるべく地中にそのまましみ込ませるといった舗装をこれから取り組んでいきたいと思っております。

一昨年の水害の教訓を踏まえて、気象庁から大雨警報が発令されたときには防災無線を使って「大雨警報が発令されました」という放送を始めました。したがって、その放送がありましたら、ご心配の地域におかれましては、先ほど車を移動されたということもありますけども、そういう必要な対応をとっていただきたいと思っております。

それからポンプの扱いについては、元下水道課長から説明します。

【環境生活部参事】

元下水道課長だったものですから、当時のその状況をご説明いたしますが、このポンプ場は文化会館の北側の低地部分にありまして、そこは雨水が一定程度降りますと自動的に作動しポンプがかかるようになっております。それは人が行って作動させるのではなくて、フロートが持ち上がって自動でポンプが作動するような仕組みになっております。

ご質問がありましたように、40分も作動しなかったというのは何か不具合だと思いますので、よく調査してみます。

【市長】

きちんとメンテナンスをしますので、再度確認をしたいと思います。

お2人目のご質問で、要支援者のネットワークといったことで、これはまさに喫緊の課題でございます。例の輪島の地震のときにも、地域の名簿というものを民生委員の方が把握されていまして、数時間のうちに全員の安否確認ができたということが非常に評価されています。私どもも実は昨年から、そういう要支援者の見守りとか支援体制をきちんと設けないといけないということで、福祉と防災の担当がプロジェクトチームを組み、いろいろ研究をしてみいました。

そして、もう少し地域の人と一緒に研究をしてみようということで、今年度モデル地区として2地区ほど指定して、その地域の皆さんと一緒に詳細な研究を詰めていこうと考えております。今、手を挙げていただいておりますおおむね了解いただいているのが、吉祥寺西福祉の会と、もう一つが東部だったかな、まだ確定はしていませんが、その2つについて、地域の皆さんと一緒に詳細な検討をしてみよう。どういう名簿をどうやって皆さんにお預けをして、それを実際にどうやって運用していくか検討し、取り組んでみたいなどと思っておりますので、その成果も踏まえながら、今後ほかの地域にもそのやり方を波及させていきたいと思っております。

それから、緑に関するお話で、非常にこの地域は、特に文化会館周り、あるいは北町の向こうへ行きますとグラウンド周辺にも緑がいっぱいあります。ところが、木については、老木化をするとさまざまな課題がでてきます。成長しますと、電線を食っていったりします。ですので、私どもは常に見守りをして、いろいろとメンテナンスや、木の保護を含めて、あるいは電線がそういうことにならないように、障害にならないように、剪定等をしていきますが、なかなかすべてを把握できない面もあります。市の緑化環境センターが市内の緑に関して、街路樹も含めて維持管理の担当でございますので、ぜひ、お気づきの点はご連絡いただきたいと思っております。

それから、ちょっと残念なお知らせですが、中央通りの桜並木が非常に老木化してしましまして、詳細に調べたところ、中がスカスカの桜が何本か発見されています。街路樹ですので、かなり道路によって傷められているというのはありますが、必要な維持管理をしていかないと、いつ倒れるかわからないという事態でございますので、何本かの木は大きな台風が来る前に、倒木しないうちに必要な手入れをしていく、つまり伐採をして新しい桜に植えかえていくということ、これからしていきたいと思っております。

ちなみに境南町のイトーヨーカドーの南の桜の木も、先日の台風のときに倒れてしまいましたので、それを伐採して、よく見たら、その中がやっぱり腐っていました。なるべく木は

切らないでそのままにしたいのですが、事故になったら大変ですので、必要な手入をこれからしていくという報告をさせていただきたいと思っております。

2. 子どもから高齢者まで笑顔でらせるまちづくり

【ご意見】

平成 17 年に厚生労働省で、健康日本 21 という中で、いろんな健康についての話の中で、食育ということが言われるようになった。私が言いたいことは、武蔵野市における中学校給食だ。お母さん方も、子どもの健康とかいう面からも給食を望んでおり、今年も市報の 5 月 1 日号、7 月 1 日号にも書かれていたし、18 年のまとめの給食への提言というのを読ませていただいたが、その中には学校でランチルームみたいなものをつくり、できれば自校でできるようにしたいというようなことも、お母さんたちの意見で書いてあった。市長さんの公約の一つでもあるかと思うが、いつごろからどのように始められるか、伺いたい。

【ご意見】

武蔵野市で初めて、児童青少年センターを建設してくださいというお願いです。桜堤の児童館はあるが、児童青少年センターは武蔵野市にないので、ぜひお願いしたい。



先月から同じことを申しあげており、市長さんはよくご存じだと思うが、泉幼稚園の跡地は、場所が井之頭小学校の隣であり、市の中央部でもあり、青少年健全育成のためにも絶好の場所である。境の何とかプレイスには何かそういうちょっとまがいの施設があるようだが、そういう中途半端なものではなく、高齢者から 0 歳まで、すべての人が使える、複合施設であってほしいと、もう既に何度も集まって話をしている中でお話ししている。

現在、保育園としての利用については、市では断念されたというふうに伺っているが、それは間違いないのか。

やっぱり大多数の 9 割の青少年は児童青少年センターのような場所を必要としている時代になっている。青少協でもそのような青少年健全育成の事業をやっているが、なかなか拠点が無い。学校にありますよと言うが、なかなかそれは難しい。ジャンボリーでサブリーダーを活用しましょうと言っても、たった 3 日間で 10 名連れていくのが関の山だと。それはちょっと日本一を目指す武蔵野市としてあまりにも寂しい青少年育成の施策状況ではないかと思う。ですから、せっかく宝の山ができた泉幼稚園跡地なので、これを有効に活用していただいて、米百俵の精神で、明日を担う日本の青少年のため、国のために、そういう施設をぜひともお願いしたい。

【市長】

まず、中学校給食の件でございますが、昨年は検討委員会ということで、市民の皆さんにも多数参加いただいた中で、どのような中学校の昼食がいいかということを検討いただきました。その結果、給食を小学校と同じか、それ以上にきちんと提供すべきだという結論をいただいています。それを受けて、今年度、教育委員会のほうでも、今まで実は教育委員会は

中学給食はやらなくていいというような判断だったのですが、中学生にふさわしい給食について導入を検討していこうじゃないかという答申をいただきましたので、現在では実施に向けた委員会を発足して、細かい検討をスタートいたしました。武蔵野市の小学校は全国に誇れる非常にいい給食を出しておりますので、私としても、それに負けないようなきちんとした中学校の給食も実現をしたいなということで、お願いをしております。

ただ、施設・設備の面については、なかなか難しい問題もあります。そして、さらに食育という話もありますので、単に昼食だけの問題ではなくて、子どもたちが健全に育っていくためにはやはり食というものを全体的に考えていかなければいけません。その中で中学校給食であると思っております。計算をしますと、中学校給食というのは、実は中学生の食事の7分の1ぐらいしか食数としてはなく、あとは家庭の食事であるということがありますので、家庭とも連携をしながら、食に関して啓発していかなければいけないかなと思っております。

そこで、設備についてはあまり大きなお金も使えないので、今ある設備をなるべく使いたいなと思っております。ですので、今、北町の調理場と桜堤の調理場というのがありますが、実は耐震上の問題が出てきたということもあって、その工事をするのに少し時間がかかります。そうすると給食がない時期でないと工事ができません。この夏には間に合いませんでしたので、来年の夏に必要な調理場の整備や、受け入れ側の中学校側の小荷物昇降機など、給食を運ぶような受け入れ体制側の設備も整えなければいけません。来年の夏に調理場整備をして、そして準備が整ったところから来年度の秋以降に導入をしていくというような予定でございますので、もうしばらくお待ちいただきたいなと思っております。



それから泉幼稚園跡地についてのご提案の件でございますが、一つは、これは市が購入を決定している土地でございますが、ここは従来から幼稚園で、もう 50 年ぐらい、幼稚園として子育ての拠点だったわけでありまして、私としても、これからも市としては子育てに関する施設利用でという思いがありまして、購入を決めたという経過もございます。ただ、この間、この土地利用については、地域のコミセンの皆さんが連携をしている検討していただいておりますので、その経緯もございます。そしてまた、2ヶ月ほど前に市からは、今年度保育園の待機児が多く出てしまったことから、保育園をとという提案をいたしました。しかし、地元の皆さんからは、拙速に保育園ということではなく、もう少し幅広く考えていきたいとの意見もありましたので、今回の待機児解消のための緊急対策としての泉幼稚園跡地への保育園設置については見送ることといたしました。保育園の待機児の解消については、今研究中ですので、概ね夏が終わるころには、待機児解消の方向性をお示しできるのではないかと思います。

そこで泉幼稚園の跡地利用については、これは調整計画でもきちんと方向を位置づけた後に、具体的な中身については地域の方等と一緒に議論をしていきたいと思っております。

一つ提案いただいた青少年施設については、私は決して否定するものではございません。

私自身も中高生の居場所という問題は前からずっと認識をしております。ただ、場所について、それから対象について、これはまだまだ研究をしないといけないのではないかなと思っております。必ずしもここがベストの位置かについても、まだ十分な検討がされていないので、これからかなと思っておりますが、何らかの形でやはり子どもに関する施設を、皆さんと一緒に考えていきたいなと思っております。じっくりとやっていきましょう。

【ご意見】

今の話の関連だが、武蔵野市は学校給食の費用の集金はどのような方法をとっているのか。



【市長】

多分ご心配なのは、払っていない家庭がいるんじゃないかということだと思いますけれども、市内ではそのような例はありません。小学校での今の集金方法は、自動引き落としですね。おそらくそのような形で中学校給食もなされると思っておりますが、まだそれは決まっております。

【ご意見】

私が心配なのは、中学生なんかの場合に、払わない親が出てくる。というのは、私は教員だったので、我々は金を払わないやつは食べさせないというのが原則だが、それをやると人権問題になるので食べさせる。それをいいことに、中には10万円をためておいて払わず、取りに行けば出刃包丁を出すという親もある。私はできればプリペイドカード方式でもって集金することが一番じゃないかと思う。伊東市の門野中学というところは、この方式をとっている。事前に自分の食べたい給食を注文しておいて、そのカードで支払うと。そうじゃないと、1回食べさせると親のほうは、ごねて結局支払わない。このことを弁護士に相談したら、これは教育委員会がやるべきことで、それと同時に市がやることだと言われたので、決して学校が貸して学校が集金するような方法をとらないでほしいし、ましてや受け持った担任が立替えるなんてことは絶対させないでほしい。

【市長】

いずれにしても中学給食の具体的な運営のほうはこれからでございますので、今日の意見は参考とさせていただきます。

【ご意見】

若い人と年寄りとの交流というような問題も起こっているが、基本的に、隣組とか近所の人とのあいさつが欠けていると思う。

僕は50年以上中町に住んでいるが、アパートなどは、出入りが激しい。だから全然交流がなくなる。あいさつがないということで、アパートの人との関係が非常に悪く、ごみ捨てマナーも全然できておらず、むちゃくちゃだ。あいさつするような関係になることが基本だと思う。

【市長】

おっしゃるとおりでありまして、例えば、この中央コミセンに入ってきて、窓口の方にこんにちはとかおっしゃっていただいておりますが、でも、いろんな人がいらっしやいますの

でなかなか難しいですね。ただ、住宅地の中では、すれ違ったら声をかけるというのは、実は防犯面にも非常にいいことなので、ぜひ、あいさつの励行というか、これは子どもたちにも強く勧めていくべきではないかなと思っております。

まさに今日中央コミセンで2番目のテーマで、「子どもから高齢者まで笑顔でくらすまちづくり」を大事にされているということでございますので、この地域からあいさつをとというのは運動としていいかもしれませんね。

3. 住みよい環境づくり

【ご意見】

ツインタワーマンション問題について、申し上げたい。皆さんご存じだと思うが、今年の4月から東京都の景観条例が改正になり、新しい条例が施行され、周辺の建物と比べて突出した景観はよくないという大規模建築物のガイドラインが出ている。それから18年2月に武蔵野市が行った景観アンケートの結果も、超高層が存在する町並みをよしとする人はわずか1人、0.4%という結果になっている。それから、今年



の4月に武蔵野市の長期計画のための市民会議の提言書でも、超高層ビルが駅周辺の景観に与える負の影響について強い警鐘を鳴らしている。それから、周りの建物に高さをそろえなさいという希望について、市民の会が2カ月半で3,000名の署名を集めているように、かなりの武蔵野市民は、この中央地区に超高層建物を中心とした町並みを好ましくないと思っていることが明らかになった。市長さんは、これだけ多数の市民が異を唱えているという現実を直視なさって、その市民の疑問に対して誠実にお答えいただきたい。滑らかな答弁ではなく、アクションをとっていただきたい。

それから、こういった市に対して異論を述べる公的な機会というのは、7月10日の公聴会が初めてであった。その10日の公聴会でも11人中9人が同様の反対意見を述べた。そしてその公聴会を踏まえて、25日に建築審査会という専門家による審査があったが、実はその建築審査会で、この高さの問題、周辺の建物との調和の問題について、何一つ審議されなかった。それでつまらない質問は幾つか出て、承認いたしますということになり、あきれてしまった。こういった武蔵野市の将来を左右するような大きな問題について、この建築審査会がこの程度の審議で承認なんていうのは、あまりにお粗末じゃないかと。やはりこういった動きがある以上、それに対するアクションとして誠実に対応して、例えば、市長さんはディベロッパーの社長とお話いただくとか、市民を交えてお話いただくとか、やはりいま一つ前に進ませる行動をとっていただきたい。

【ご意見】

これはすぐそばにあります文化会館の問題だが、あの周りに石畳というか、でこぼこの部分がある。あれは非常に歩きにくい。うちのかみさんが、あそこを歩くのはものすごく嫌がるが、車道を歩けというのも危険だから我慢して歩いてくれと言っている。それから、女性

はハイヒールであそこを歩くのはものすごく難しいし、ハイヒールがすぐ壊れると思う。バリアフリーというのがあるが、まさにあれははっきり目に見える障害で、バリアだ。あれが今まで問題にならずにそのまま残っているというのは、不思議でならない。邑上さんの代になって、真っ平らの障害のない歩きやすいものに、全体として改修することが難しければ、一部にそういう部分をつくるというような改善方法をとっていただけないかなと思う。

【ご意見】

前日もツインタワーのことで発言をした。あのときは、先ほど出た景観アンケートで、30階以上の高いビルが建ってもやむを得ないという回答が、全体の中で3%ということで、そうすると97%は少なくとも20階まで認める人を含めて否定的だ。武蔵野市民の意思を市長さんはどう考えているのかということ、相変わらず明確に答えていただいている気がする。武蔵野市民全体でそういう結果が出ているので、該当の地域の人はずっと多いはずじゃないか。やはりその地域の人にもアンケートを行ってほしい。

私どもは「考える市民の会」というのに入っているが、武蔵野市の町並みを何とか守りたいという思いでこういう発言をしている。私たちの意見はほんの一部の武蔵野市の住民の声だと思っておられる気がする。そのあたりをどう考えておられるのかをお聞きしたい。

それで、この問題については、「考える会」の代表らが、市に（紛争調停の）あっせんを求めて、2回ほどやっているということだが、聞いたところでは、市は調整する努力をほとんどしていないというように伺っている。事業者と「考える会」の代表があっせんを受けており、市はそれを調整する努力をしなければならないという条例があるにもかかわらず、何らされていないと聞いているので、そのところはどうかということをお聞きしたい。

【ご意見】

コミセンのエレベーターの設置については毎回出ていると思うが、ここも建設から30年以上経っており、何とか建て直しをすると同時に、エレベーターの設置をお願いしたい。私ども老人会もここを使っているが、高齢化が進み、80歳以上の人が多くなり、ここの上り下りが非常に苦勞になってきている。だから、できれば早い時期に設置をしていただきたい。

あともう一つはたばこのポイ捨てについて。私はクリーンむさしのにも関連しているが、歩道上にポイ捨ての禁止のマークがつけられたが、だんだん時間がたってきて、捨てる人が多くなった。たしか三鷹市は禁止条例でもう実行されていると思うが、条例をつくって武蔵野もぜひこれを考慮していただきたい。

【ご意見】

一つは、先ほど意見の出た文化会館の周辺のでこぼこの車寄せだが、車いすなんて通れたものではないので、私は車道を通っている。これは早急にご返事いただきたい。

それからもう一つは、中央コミセンのバリアフリーだが、私は車いすなものだから、2階以上でどんな催しがあっても参加ができない状況で非常に困っている。コミセンというのは地域のコミュニティの中心なので、ぜひバリアフリー化してほしい。

もし、先ほど出たような建築計画がないならば、必ずエレベーターか、リフトでもいいので、つけて欲しい。中央コミセンは、いまだにエレベーターがない状態を20年も30年もほ

うっておいたということはとんでもない話だと思うので、建て替えの計画がないならば、ぜひ、付加するという事でやっていただきたい。

【市長】

最初にツインタワーの話をしたと思っております。今日も始まる前に表でビラをいただきまして、なかなか厳しい表現だったかなと思います。皆さんには何回かお会いして、私の考えを言ってきたつもりであります。高さというのは私は非常に気にしております。今までにない高さがあるところに出現しますから、これは当然慎重に検討すべきだと。しかし、あそこの建物というのは高さだけで決まりません。むしろ最終的にはまちづくりの視点で決めざるを得ないという判断をしております。

そこで地域のまちづくりをいろいろ考えて、市としてもいろいろな方針を立てたわけです。その方針に基づいて、業者のほうでそれを検討してクリアしたので、開発審査会のほうではオーケーが出たと。さらに総合設計制度を使いまして、ある一定の用地を提供いただく等々の取り組みを得て、それで建築審査会の判断でもオーケーということになっております。しかし、だからといってすぐ私がオーケーを出すまでにはまだいっていないという認識をしております。



実は議会にも皆さんが陳情を出されておりますよね。3,000名近くの署名を集められて陳情を出したということは私も重く受けとめております。今、建設委員会でその陳情の審議が継続をされているということもありますので、次回、8月23日の審議の経過も踏まえて、判断をしていきたいと思っております。

さらに、事業者側についてもこれからは強く言っていきたいのは、やはり環境面です。高さについてのみ言われるとなかなかつらい面があります。つまり、今までなかったところに高い建物が建っていいでしょうというのは、私としても言いづらい面があります。しかし、あの地域は商業地域でありまして、基本的には商業業務を集積する地域というふうになっており、かつ、現場はちょうど真ん中の部分でございますので、武蔵野市全体がそういう超高層ありきかということではなくて、この地域の条件からすると、ある一定の高さは認めざるを得ないという判断をしております。

しかし、やはり建つからにはきちんとした指導をしていきたいと思っておりますので、周辺のマンションの皆さんにおかれましては、通風、日照、電波障害、多々いろいろご心配もあるので、そういうことについてはきちんと業者に対応をするように、これからは申しつけていきたいと思っております。

この開発を止めるということではなくて、むしろ開発されることを逆にまちづくりに活かしていくと。いろいろ議論はありますが、低い建物にしますと、その分、建ぺい率が増えてしまう。つまり空間の部分が減ってしまいますので、広がりのある、あるいは緑を増やすことはできませんので、むしろある程度塔状にすることによって公開空地を増やして、そこに緑豊かな空間を増やしていくということが、一つの三鷹駅北口のまちづくりの方向で

もあるのかなど、現時点で、私はそのように考えております。

次に、文化会館前のがたがた道についてのご意見ですが、議会でも実は松本議員から、このがたがた道は何とかならないかという質問をいただいております、それを予算化しました。何とかここは平滑な面で、車いすも通りやすいという形で改修をしようという予算を取りましたので、予定では8月中に工事をするという予定で組んでいるはずですが、若干工事は遅れているかもしれませんが、いずれにしても今年度予算を取りましたので、ご期待いただきたいなど。速やかに工事をしていきたいと思っております。

それから、このコミセンのエレベーター。私も多く利用させていただいている中で、上に上がる階段が、ご高齢の方にはなかなか大変だなという認識をしております。それで、エレベーターはつかないのかと建築の担当に聞きました。ところが、ここは建築基準法上なかなか難しいんですよ。つまりこの中につくる場所がなかなか見つからないという点と、外づけをするとそれが建築面積に加わって、建築基準法違反になってしまうというのが建築担当の意見でありました。実はこの敷地はめいっぱい建物が建っているそうなんです。

しかし先ほどリフトという話がありましたよね。何か完全なきちんとしたエレベーターではなくて、これはコミセンの皆さんと相談もしないといけません、最近いろんなバリアフリーが発達してきましたので、そういうもので検討できないかなと思っております。至急可能性を検討します。コミセン担当は近々コミセン側と協議の場を持っていただきたいと思っております。ただ、今年度は予算化が難しいと思いますので、検討して、可能性があれば予算をつくっていくということしていきたいと思っております。

それから、たばこのポイ捨てについては、これは基本的には吉祥寺、三鷹、武蔵境に禁止地域を設定しております、その中はたばこを吸っちゃだめという、そしてたばこの吸えるポイントはマナーポイントだけですよということで、これはかなり効果があります。その地域では、今はベテランの方と若い女性スタッフとともに歩いていただいてキャンペーンを行っています。わりとそれは効果があります。ただ、それはなかなか全市的に広げるのは難しいので、今は当面主要駅周辺に限って進めております。

ですので、その取り組みをもう少し続けた後、もう少し全市的に問題がある箇所があれば、どういった対応ができるかどうかについて、これから研究をしていきたいと思っております。

(3) 第 2 部 市政全般についての意見交換 (要旨)

1. 健康・福祉

【市 長】

障がい者福祉については、今回、障害者自立支援法が段階的に施行されたこともあって、この間、障がい者のみなさんは不安が大きかったのではないかと考えております。市としましては、まずは法律をきちんと運用していくこと、そして法律では対応が難しいことについて、きめ細かく対応していきたいと考えています。



1. 障がい者福祉の充実について

【発言意見】

今 3 歳になる娘が重症心身障がい児だが、何の制度を利用するにしても所得制限に始まり、障がいの種類など細かく分けられてしまい、一つ一つクリアーするのに、ものすごい労力を要する。成人の障がい者の制度についてはいろいろ告知があるが、障がい児については何か忘れられてしまっているように感じる。例えば、今回おむつの支給について、どうやら受けられるようになったようだが、まだ連絡が来ない。

また、療育施設については、医療的なケアの必要な障がい児が通える通所施設が近くにないため府中まで通っている。うちは車がないので、三鷹まで歩いて行って電車など乗り継ぐので行くだけでも大変で、少しでも子どもの具合が悪くなってしまうともうどこにも行けなくなってしまう。市の中ではウィズという障がい児の通所施設があるが、看護師の常駐がないのでうちの娘には不向きで安心して預けられない。私は、秋にもう一人子どもが生まれるため、遠くの施設に子どもを通わせることが難しくなるので、ウィズのような施設をもう少し充実していただきたい。

【市 長】

障がい児の施設は、確かに多くないので、市としても取り組みが遅れているかもしれませんが。ただ、緑町の都営住宅の建て替えに伴って、一部障がい児の施設等を予定しています。ウィズについても、それに伴い移転が予定されていますので、少しでも充実するように様々なご意見をお寄せいただきたいと思います。それから何かございましたら、障害者福祉課にお問い合わせください。なるべくきめ細かく個々の対応をさせていただきますので、ぜひいろいろご意見をいただきたいと思います。

地域社協とコミセンの連携についてですが、地域社協は市内で 13 の地域で活動しております。基本的にやり方は各地域社協にお任せしています。そのため、コミセンと連携を深めているところもあれば、独自に活動を進めているところもありますので、一概に市と一緒にやりなさいという言い方はできないかと思っています。しかし、様々な取り組みの中で、コミセンとの連携がうまくいっている例があれば、他の地域社協にも紹介してまいりたいと思います。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については 25 ページをご覧ください。)

2. 子ども・教育

【市長】

0123施設の休館日についてのお尋ねですが、0123吉祥寺と0123はらっぱで確か日付をずらしております。どちらかは空いているので、ぜひいつていただければと思います。それから、認証保育所についても兄弟割引の補助をくださいとの意見をいただいておりますが、これについては、ある一定の額では補助を出しているかと思いますが、カードを書いた方がいれば補足していただいてもよろしいですか。

1. 0123施設の休館日について

【発言意見】

0123吉祥寺とはらっぱは、すごく遠い。その上、片方だけが空いているというのでは、混み合うという現状がある。土日両方でないだけましだということに聞こえるが、逆に土曜日、日曜日しか休めない、働いている女性たちが利用できないという声が私の周りにはすごく多い。

【市長】

0123は、利用が増えていまして、長期計画においても増やしていこうという計画もありますので、今後の配置や利用時間については議論をしていきたいと思います。

2. 認証保育所にも兄弟割引を

【発言意見】

子どもが認証保育所に通っていて補助が出ているが、認可保育園にはある兄弟割引が認証保育所にはないのでお願いしたい。

一人目の子どもが障がい児で、秋には双子が生まれる。障がい児を抱えて3人の保育を家で行うのは難しいので、お願いしたい。

【子ども家庭部長】

ご意見をいただいたとおり、認可保育園では、兄弟がいる場合には保育料について兄弟減額の制度があります。認証保育所につきましては、あくまでも認証保育所自体が保育料を決めており、市としては補助をするという形になります。



【市長】

いろいろな補助のあり方については、今議論しているところなので検討課題として受け止めさせてください。

【市長】

泉幼稚園跡地については、「子どもから高齢者まで使える複合施設」や「児童・青少年施設」をなど多くの意

見が寄せられています。これについては、これから意見を深めていきましょう。

その中で、児童館という意見が多く寄せられています。皆さんは児童館を利用したことはありますか。私も、児童館が地域の一番西側にしかないことから、市の施策として位置づけるのであれば、もう少し全市的なバランスのとれた展開が必要ではないかと思っております。

学童クラブについては、私立の小学校に通う児童も通わせてほしいといった意見をいただいておりますが、現在は、市立小学校の児童を対象としていることを条例で定めており、現時点で私立まで広げる考えは持っておりません。

3. 私立小学校児童の放課後の居場所について

【発言意見】

来年から、子どもを私立の小学校に通わせようと考えているが、シングルマザーで働いているので、子どもが 12 時半なんかには帰られても困る。そのため、市に対応を聞いたところ、「あそべえ」で対応しているとの説明を受けている。しかし、学童クラブと異なり、「あそべえ」は登録をしないので、ちゃんと子どもがついたかどうかの確認もされず不安がある。

なぜ、同じ武蔵野市の子どもたちなのに、普段の昼間通っている学校が公立か私立かというだけで対応が違うのか納得がいかない。逆に条例の第 1 条を改正していただきたい。

【市長】

現在、学童クラブは、小学校と密接に連携した運営をしており、場所についても小学校と離れているものについては小学校内に移転すべく取り組んでいます。また、小学校の授業の終了時間にあわせて開き、いろいろなイベントによってお休みにしたりしているので、今の運営状態からすると私立の皆さんまで受け入れるのは難しいと考えています。

4. 私立小学校児童を学童に受け入れることについて

【発言意見】

子どもを学童に通わせている保護者の方と話した際に、今、クラスの中で学童に通っている児童は少数派で定員割れになっており、また、実際は「あそべえ」と学童の子どもたちが混ざって遊んでいると聞いているので、私立の子どもが混ざっても監護が受けにくいという状況ではないように感じた。来年もまた児童数が減る予定とも聞いているので、私立小学校児童の受入の余裕がないということはないのではないか。

【市長】

基本的に、学童クラブというのは監護が必要な事業ですから「あそべえ」とは異なる事業です。しかし、場所が隣り合ったりしている場合もありますし、同じ学校の児童ですので遊びの時間などは大いに連携しようということで工夫していただいています。

今回、学童クラブについていろいろな意見をいただいたので、行政内部や関係機関とも議論していきたいと思っております。

【市長】

小中学校教育では、**児童登下校時の安全のための市と地域の連携**ということでA型バリケードのことに書かれていますが、書いた方がいらっしゃれば補足をお願いします。

また、**公立学校の選択性**については、現在、通学ルートの問題や希望する部活動が学区内の学校になく、隣の学校にある場合など、柔軟な対応をしております。しかし、今一時に完全選択制にするという考えはございません。私の考えとしては、やはり地域の学校にぜひ通っていただきたいと考えております。選択制を取り入れているところでは、人気のある学校とそうでないところに差が出来てしまい、人気のない学校では過疎化してしまい、地域とまったく関係のない学校になってしまう。防災や福祉などを含めて、やはり学校は地域の拠点であってほしいので、市としては、当面今のような対応で推移を見守りたいと思います。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については 25 ページをご覧ください。)

5. A型バリケードの管理について

【発言意見】

私が書いたカードではないが、例えば、井之頭小学校の登下校の時間に車両進入禁止のためにA型バリケードを設置してくれていた方々で、通行車両の運転手から脅迫を受けて、もう嫌だとおっしゃる方もいる。そういう問題について書かれているのではないかな。

3. 緑・環境・市民生活

【市長】

ペットの規制として尿の清掃をという意見をいただいております。それと、**ラジオ体操の会場**についてご意見をいただいておりますが、書いた方がいらっしゃれば補足をお願いします。

1. 犬の散歩のマナーについて

【発言意見】

私も、犬の散歩をしているが、ペットボトルに水を入れておいて、犬が尿をしたら水をかけて洗い流すというのを見かけた。これも飼っている人のマナーかと感じた。

2. 公園の使用許可申請について

【発言意見】

介護が必要にならないようにラジオ体操に取り組んでいる。当初、横河のグラウンドを使っていたが、横河公園に移ることになり、市の公園の使用申請をしたところ、許可の期限が1ヶ月ということであった。その上、申請から許可まで、1週間程度かかることなので手続きが大変であった。そのため、議員さんを通して老人が健康のためにやっているということで半年ごとの申請にしてもらった。これを、1年間の許可にってもらうことは出来ないか。私たちが、清掃をしながら使用することによって公園がきれいになっている面もあるのでぜひお願いしたい。



【市 長】

私は、犬を飼っていないのでその辺のことはわかりませんが、糞の始末は当たり前だが、尿はしかたがないかなと思っていました。確かに、ペットボトルに水を汲んでいけばよいことですので、市としてもそういうマナーアップに取り組んでいきたいと思えます。

また、公園の使用申請については、半年ぐらいであれば申請してもらってもよいのではないかとと思えますが、ルールがあるかと思えますので、調べてまた回答します。

3. 災害時要支援者の情報について

【発言意見】

新潟の地震の際に、柏崎あたりで 10 人くらい亡くなっているが、そのうち 4 人が要支援者であった。要支援者について市は把握していたが、地元の町内会には情報がいってなかったと聞いている。今、個人情報保護についていろいろ言われているが、命にかかわる問題については速やかに対処しなくてはならないと思う。私の住んでいるアパートは、だんだん周りが高齢化してきて大変になっているので非常に心配している。

【市 長】

今回 11 名の方が亡くなられ、そのうち 4~5 名が要支援者であったということで、要支援者対策の取り組みは市としても非常に注目しております。

【市 長】

公園のトイレの設置について要望をいただいておりますが、非常に難しい問題です。小さな公園ですと、近隣の方が臭いの問題も含めて難しいと判断されることが多いようです。市としては基準を設け、5,000 m²以上の公園には公衆トイレを設置し、その他の公園については周辺の同意を得た上で、必要に応じて設置することとしていますので、すべての公園にトイレを設置することは難しいと考えています。

地域型のスポーツクラブの検討については、今、横河のサッカークラブの監督がそのような NPO 活動に関わっていらして、ぜひ地域スポーツを手がけていきたいとお考えのようです。市としては、そのような取り組みを見守りながら、どのような応援が出来るのかを考えていきたいと思えます。また、スポーツ振興計画を策定するという予定になっていますので、その中で地域スポーツのあり方について議論して位置づけてまいります。

西部図書館をなくさないでほしいとのご意見をいただいておりますが、西部図書館については、今度、武蔵境駅南口の旧農水省食糧倉庫跡地で、「武蔵野プレイス（仮称）」という大型の図書館にするということで計画を進めております。西部図書館跡の利用については、これからの議論となりますのでご意見をいただきたいと考えています。

図書館の休館日がすべて金曜日になっているので、ずらしてほしいとのご意見ですが、現状ではコンピューターがすべてつながっていて、開館するのであればすべて開かなければな

らないとのこと。しかし、仕事の休みが金曜日しか取れないかたもいらっしゃるかと思いますので、タイミングとしては武蔵野プレイス（仮称）ができる3年後に仕組みも変更しなければならないかと思っておりますので、そのときに合わせて利用の仕方を議論していきたいと思っております。

コミセンのあり方については、コミュニティづくりの自主三原則についてとコミセンの私物化について意見をいただいております。コミュニティづくりの自主三原則については、維持・堅持していくというのが基本的な考え方ですが、コミュニティ構想自体が三十数年たっておりますので、これからのコミュニティのあり方については機会を見つけてコミュニティ研究連絡協議会の皆さんとも研究を進めてまいりたいと思っております。コミセンの私物化については、状況がよくわかりませんが、協議会の皆さんも多くの皆様に利用していただくために様々な工夫をなさっていると思っておりますので、いろいろな課題があれば、それは窓口なり協議会のほうにどしどし言っていただければと思います。

（参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については 28 ページをご覧ください。）

4. 都市基盤

【市長】

バリアフリーについては、公共施設に段差が多いということで意見をいただいております。例えば、公会堂などは階段だらけの建物ですが、東京オリンピックの年に出来た建物ですので構造的にエレベーターの設置は困難です。エレベーターの設置が出来る施設には積極的につけていこうという方針なのですが、どうしてもつけられないところが残ってしまっています。コミセンなどもそうです。そうしますと、あとは建替え等を考えていかななくてはならないかと思っています。施設の老朽度を確認しながら、必要があれば思い切って建替えに向けた検討もしていきたいと思っております。



それから、吉祥寺駅のエレベーターについては、吉祥寺駅の都合でちょっと工事が遅れていますが、設置する方向で進んでいます。

自転車の問題については、多くの意見をいただいております。やはりこの地域は、たくさんの自転車が通過していくので、その課題もたくさん出てきたのかと思います。その中でも一つ目は、自転車の走る場所の問題です。それがどうも混乱しているようです。たまたま、この前の通りについては、特別な地域として自転車は道路の左側を走ってくださいと看板を立てることを試行していますが、これについては評価をいただいております。ただ、自転車が多すぎて、はみ出てしまい危ない面もあります。武蔵野市の道路は、ご承知のとおり自転車専用レーンをつくるまでの広さは持っておりません。しかし、もう少し自転車の走行環境について注目して工夫できないかと思っています。

それから、駐輪場については、申し訳ありませんが足りておりません。いま三鷹駅北口で

も 5,000 台規模の駐輪場がありますが、不足しておりまして、皆様の登録につきましても多くの方にご迷惑をかけて、お断りしているケースも多々出ております。そのことから、駐輪場の確保というのは、三鷹駅だけでなく他の 2 駅も含めて大きな課題となっています。その中で出てきた現状の課題として、駅前の駐輪場で平置きになっているところがあったのではないかとということがあります。そういう可能性のあるところを含めて、自転車駐輪場については立体的な利用を大いに考えていきたいと思っております

自転車マナーについても多くの意見が寄せられています。暴走自転車がとても多いということで、昨年も自転車安全利用についての会議を開催しました。そして、その中には当事者になりがちな、大学生や高校生といった若者にも参加してもらいました。若い視点で、いろいろな意見をいただきましたので、それを踏まえて市としてどのようなことが出来るのかを内部で検討しております。

また、そこから派生して、会議に参加した武蔵野北高校の生徒が自分の学校にその話題を持ち帰り、高校でも自転車マナー教室を開こうということとなり、武蔵野北高校で全校生徒参加のもとマナー教室が開かれました。ほかにも、その委員会にはいくつかの大学や高校の学生や生徒が参加していますので、ぜひ自分たちの学校でもマナーアップの取り組みをして欲しいと呼びかけています。

いずれにしても、マナーアップにつきましても、単に声を上げるのではなくてきちんとした講習会を実施し、かつ、参加した人には何かメリットをつける必要があると思います。例えば、駐輪場の優先利用ですとか、ここまで言ってしまってもよいのかはわかりませんが、料金を安くするなど、何かメリットを与えるような形で啓発活動を進めていければと思います。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については 31 ページをご覧ください。)

1. 暴走自転車の取締りについて

【発言意見】

高校生などは、平気で暴走しているが、あれは本当に捕まって送検されると 2 万円以下の罰金か 3 ヶ月近くの懲役となる。これだと、前科がつく。自動車の場合、これが行政罰に替わったので前科がつかない。警察が、自転車の交通違反を捕まえないのは、刑事罰で前科がついてしまうためなので、軽車両の自転車も行政罰に変えれば、子どもたちが違反するのを全部捕まえられるはずだ。

それから、歩車分離式の信号については、横断歩道を渡る際には、歩行者として自転車を降りて押さなければならないことも知られていない。こういうところについても、ぜひ小学校や中学校で持って知らせる必要がある。

また、文化会館通りの歩道上は自転車の通行が禁止されているのに交差点の歩道上に自転車の一時停止のマークがされていた。これについては、警察に確認しましたら市のほうへ伝えるとのことで、市のほうで削除したようだが、大野田小学校の前などにも入っており案内の方がいい加減だ。

それから、ぜひ自転車の保険を皆さんに勧めていただきたい。静岡県の高校生は、全員加入させない限り自転車を利用させなかった。

【市 長】

ただいまいただいた意見は、警察にも強くお願いしています。警察でも、最近取り締まりを厳しくしており、悪質な運転者に対し、この前赤切符を切った例もあります。市としても警察とも連携して、規制強化については支援していきたいと思えます。

【市 長】

駅周辺整備につきましては、やはりツインタワーの高さについて皆さん心配される意見が多く出ています。市としましても、この駅前については従来から大規模な開発が起こるであろうという前提のもとに、どういう誘導をしていったらよいかということで議論し、方針を定めました。先ほど、市として開発者に対しどのような注文を出したのかというご質問もありましたが、その方針に照らして誘導をしてきたということでございます。

その中で、具体的をお願いしているのは、例えば、道路用地を生み出して欲しい、あるいは公開空地を生み出して欲しい、緑地を増やして欲しい、駐輪場をつくって欲しい、それから地域に対して公共スペースを提供して欲しいなどです。それに対して、業者のほうでも、検討の結果受け入れていただくような形で調整が進められています。

ただ、皆さんの心配というのは、まだまだ解決されていないと思っております。今、ちょうど議会でも議論をいただいておりますので、その審議も踏まえて、慎重に検討していきたいと考えています。それから施設の中での要望として、保育所を設置してくださいというのがありますが、これは市として設置の要望は出していません。

2. 吉祥寺シアターの階段について

【発言意見】

吉祥寺シアターの客席の階段で、足をふみはずしたことがありとても危険に思う。公会堂のようにオリンピックのころの建物ならともかく、最近出来た施設であるような階段となった経緯を説明して欲しい。

【市 長】

私も何回かお邪魔していますが、客席と一体となった構造なので確かに少し揺れますね。本日は、担当がいないので調べた上で回答します。

(確認事項)

吉祥寺シアターは、演劇やダンスを中心とした舞台芸術に特化した施設であり、劇場部分は、ブラックボックスといわれる客席と舞台が一体となった四角い空間で演出上の暗転ができるような色調としてあります。

当施設については、ユニバーサルデザインの視点から整備を行なっていますが、客席は、見やすさを重視して段床形式のものを採用しています。客席階段は、東京都福祉のまちづくり条例の基準を満たしておりますが、その段床は演出や上演内容によって、舞台や客席の配置を変更することのできる組み合わせ式の構造をとっています。

構造上、多少のきしみ等を感じることもありますし、また演出上照明を落としているため、高齢の方、身体に障がいをお持ちの方にとって不安を感じることもあろうかと思えます。

シアターでは、後部の客席の方の観劇に支障がない範囲で手すりを配置したり、足元の段差が見やすいよう蓄光テープを貼るなどの措置をとるほか、お申し出いただければ、1階のロビーの扉より係員がご案内をいたしております。お気軽に係員に声をかけていただければと思いますが、今後も使い勝手や安全性を考慮し、よりみなさんに利用しやすい施設となるよう研究してまいりたいと思えます。

3. 三鷹駅北口の開発について

【発言意見】

開発審査会と建築審査会は通って、後は議会の建設委員会があるのでその結果を待つと市長はおっしゃるが、市長は何をもって決断するのか。建設委員会でもって、議会が計画を承認したら決断するのか、苦渋の決断だとは思いますがそのところをはっきり示していただきたい。

【市長】

現在、2つの審査会が終わっているという限りでは、私は開発を認めざるを得ないという判断をしております。最終的には、議会における議論を見て総合的に判断をするというスタンスです。

5. 行・財政・その他

【市長】

無駄な出費を抑えて住民サービスの向上をということについて、武蔵野市は他の市から見ると裕福と言われます。確かに、財政力などいろいろな指数を比べても裕福な市かもしれませんが、だからといって無駄遣いは決して許されるところではありません。現在も「事務事業・補助金の見直し委員会」を設置して、委員の皆さんに議論していただいております。そういう場を通じて、前年補助金を出したから今年も出すということではなく、その年に何を実施するのかによって必要額を補助金として申請してもらうような仕組みを確立したいと思っております。

今まで、地域の様々な事業や団体等に補助金を出しております。そのことに対して、一定の利用も受け、評価もいただいておりますので、頑張っている団体には大いに応援すべきと思っておりますが、何年も同じ補助金額ということではなく、前向きにかつ無駄のないように活動していただきたいと思えます。

シルバー人材センターについては、建物が建築基準法違反だと聞いたということで質問をいただいております。基本的には、そういうことはないと理解していますが、調べた上で回答いたします。それから、リサイクル品の管理倉庫が不足していることについて意見をいただいております。



これはシルバーの事業以外にも、地域の皆さんにもいろいろリサイクル事業をしていただいています。なかなかそのストックヤードがないということでご意見をいただいています。現時点で、「ではどこを」という回答はできません。ただ、クリーンセンターができて 23 年経っており、設備は 30 年で更新しないとイケませんので、これから建て直していく必要があると考えています。その前提として、ごみを減量していく中でそれに見合った規模の施設にしていきたいと考えています。それにより、施設に余裕ができれば、そこをいろいろなりサイクルの拠点としていくことも考えられるのではないかと考えております。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については 36 ページをご覧ください。)

1. ごみの減量について

【発言意見】

武蔵野市は、プラスチックの分別化やごみ有料化などごみ行政についてはだいぶ進んでいる。しかし残念なのは、生ごみについての具体的な施策は、「水切りをしましょう」というぐらいしかない。しかし、生ごみは可燃ごみの半分近くを占めている。私たちクリーンむさしの推進する会では、一生懸命講習をしたり、減量化に向けた話し合いや各コミセンにコンポスターを置かせてもらったりなどの運動をしている。そのことから、生ごみ削減の取り組みの施策について市と話し合いながら進められれば、私たちが 10 年間行ってきた取り組みが一步進み、ごみの減量化につながるのではないかと思います。

【市長】

今、ごみ市民会議を行っています。その担当参事がおりますので、会議のことについて説明してください。

【ごみ総合対策担当参事】

現在、市民の皆さんや大学の先生などが参加して会議を行っています。武蔵野市のごみをどうしていくのかについて議論を進めていますが、今いただいた、生ごみの問題も含めて研究を進めておりまして、もうすぐ中間報告が出る予定です。その中間報告に対して、皆さんのご意見をお聞きする機会を設けてまいりますので、その際にはご意見・ご提案をお願いいたします。



2. 公園の衛生管理について

【発言意見】

中道公園にプールみたいに小さい子が水遊びをできるところがある。その水は、いつも循環しているように見えるが消毒等はしているのか。先日、そこを通った際、ホームレスの男性が東屋のところで体を拭いていた。あそこはこれからの時期 2～3 歳の子どもたちが大勢水遊びをしたりするので、消毒などの衛生面の管理をしっかりして欲しい。

3. 三鷹駅北口の開発について

【発言意見】

先ほど、建築審査会で承認されたので、議会で承認されれば開発を認めるというふうにおっしゃったが、先日審査会を傍聴した感想として、議論が尽くされているようには思えない。私たちの意見については、市長にも伝えているし、委員の方にも読んでいただいているはずだが、そのことについては何も酌んでくださっていない。審査会が、あまりにも簡単に計画を通してしまったのに啞然としている。

議会でも我々は、傍聴だけになると思うので、慎重に考えていただくようお願いしたい。

【市 長】

最後に三鷹駅北口のツインタワーの建設計画について意見をいただきましたが、陳述書もいただいていますので、それをもう一度一通り読んでみますのでよろしくお願いします。

中道公園の水につきましては、当然子どもたちが水遊びをすることを想定していますので、安全管理はきわめて重要と思っています。今日は、公園担当が来ておりませんので、もう一度確認しておきます。

また、中道公園でもうひとつ言われているのはトイレのことです。特に、水遊びをするとトイレが近くなってしまう子どもたちもいるかと思しますので、大人には我慢しろといえませんが、子ども用には、今、簡易のしつらえがあるので、それもあわせて検討しています。

（確認事項）

中道公園の水については、滅菌液（次亜塩素酸ナトリウム）をプールと同等の濃度で使用しています。また、水は基本的に週 2 回（月曜日・金曜日）交換し、特に真夏の最盛期には週 3 回交換している週もあります。

(4) 閉会のあいさつ

【中央コミュニティ協議会 委員長】

長い時間どうもありがとうございました。

有意義な時間をすごせましたでしょうか。もし、足りない方は、コミセンに「市長への手紙」の便箋と封筒というのが置いてございます。いつでもこちらのほうに取りにお越しください。

また、先ほどは、文化会館の歩道の問題が今日解決されて、ほっとして帰られる方も多いのではないのでしょうか。



また、私たちのコミセンをバリアフリー化して欲しいとの意見についても、市と相談しながらリフトの設置について取り組んでまいりたいと思っております。

そのように、私たちもまちづくりの一端を担えたらと思っておりますし、さらに努力していきたいと思えます。

最後にですが、8月5日午後5時より夏祭りがございます。今日初めてこの中央コミセンにお見えになった方もいらっしゃるかも知れませんが、どうぞ夏のひととき、

おいでいただければと思っております。

本日は本当にありがとうございました。

【市長】

みなさん、ありがとうございました。8月1日ということで、夏休み真っただ中の開催でした。

実は、私は明日、あさってと遠野に行つてまいります。今、武蔵野市民の家族ふれあい体験という形で、親子32組が遠野に行つておりますので、どのようなことをやっているのかを見てこようかと思っております。

今日、言い足りないことは、「市長の手紙」もございませぬので、意見をいっぱい言っていたきたいと思えます。私も市の職員には大いに地域に出ていろいろな課題を見つけてこいといつておりますが、なかなか気づかない点多々ありますので、こういう場も通じて、あるいはいろいろな場を通じて、皆さんがお気づきの点を市役所にお寄せいただきたいと思えます。

今日の運営、それから準備について、コミセンの皆さんありがとうございました。

2. 参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針

①健康・福祉

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
障がい者福祉	1	高齢者福祉だけでなく障害児福祉も充実させてください。	高齢者、障がい者(児)という枠にとらわれることなく、「どなたも安心して住み続けていただけるまち」をめざして、支援を必要とする方のための福祉という視点で充実に努めてまいります。
	2	障害児の療育施設及びショートステイ施設の設置と充実をお願いします。 ◆このままでは引っ越さざるを得ません。私はこの地域の中で子育てを続けたい。	障がい児の通所施設『ウイズ』が、平成21年度に都営緑町住宅1階への移転を機に拡充の予定です。また療育相談事業『ハビット』との連携強化を前提として、運営法人と障害者福祉課とで内容について検討中です。療育の分野は専門多職種の適切な関わりが必要で、特に医療面での高度な専門性が必要なケースもあります。本市のような規模の自治体で担える範囲には自ずと限界があることについてはご理解いただきたく存じます。 平成20年4月、吉祥寺南町に障がい者ショートステイ施設がオープンします。地域に開かれた充実した内容となるよう運営法人と障害者福祉課とで検討中です。
地域福祉	1	<市民社協の組織下にある地域社協のあり方について> 地域の福祉活動を充実させるため、地域社協と各コミュニティ協議会と対応し連携を密にすべきである。	コミュニティセンターにおける地域社協の活動が円滑に行えるよう働きかけを行ってきましたが、その活動地域が必ずしもコミュニティ協議会の活動地域と一致していないという状況もあり、うまく連携がとれていない地域もあります。地域社協代表者会議などで連携がとれている事例を紹介していきたいと思います。

②子ども・教育

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
子育て支援	1	小学校卒業までの医療費補助の拡大。	義務教育就学児医療費助成制度は、東京都の制度で、小・中学生を対象に、保険診療の自己負担分の3割のうち1割を助成するものです。児童手当に準じた保護者の所得制限がありますが、武蔵野市では、子育て支援の観点から乳幼児医療費助成と同様所得制限を設けないこととし、助成の範囲は1割で、本年10月より実施を予定しています。
	2	0123吉祥寺&はらっぱが土・日交替で休みなのは、平日働いている親が利用しにくいです。	0123両施設は0歳から3歳までの、主に保育園にも幼稚園にも通わないで、家庭で子育てをしている親子を対象とした子育て支援施設ですが、普段は保育園に通っていて、母子父子のふれあいが少ないと感じている親子も一緒に遊べる場にしたいということから、0123吉祥寺は土曜日に、0123はらっぱは日曜日に開館するようにしています。この趣旨をご理解いただきたいと思います。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
子育て支援	3	子育てのしやすい街に！！ 市民病院を作ってほしい！！	市では、「子ども施策の推進」を優先施策として位置づけており、子どもの成長の様々なステージで子育て支援を推進しています。今後も子育て支援施策を充実させるとともに安心して子育てができ、子どもが育つ喜びが実感できるまちを目指します。 全国の自治体病院事業は、平成17年度においても7割近くが赤字といわれており、病院経営は自治体にとって大きな負担となることが予想されます。また、全国的な医師・看護師の不足という問題もあり、医師確保ができず診療科が成立しなくなるという市町村病院の事例もあるとのことです。このような状況を勘案した場合に、市民病院を経営することは極めて困難と考えます。 その代替りの措置として、この地域の基幹病院である武蔵野赤十字病院に補助金を支出して、市民優先病床の確保や小児救急、女性外来診療等の充実を図っています。
	1	無認可保育園や認証保育所にもきょうだい割引の補助をください。	認可保育園以外の保育施設で保育されている方への市の負担は、東京都認証保育所、保育室、家庭福祉員がありますが、施設に対するものと、保護者に対するものがあり、いずれの施設も保育料は施設が独自に定めております。保護者への補助は年齢により補助額を変えております。
泉幼稚園跡地利用	1	泉幼稚園の跡地に、どうしても中学生の居場所を作ってください。小学生には「あそべえ」がありますが、中学生になったら、行く場所がなくて困っています。	泉幼稚園跡地につきましては、長年、幼稚園であった歴史を持つ土地であることに鑑みて、子育て支援関連施設として調整計画で一定の方向性を示していきたいと考えています。しかし、中学生の居場所の問題については、「ハコモノ」としての居場所なのか、「地域での役割を担うこと」としての居場所なのか、もう少し研究が必要かと考えています。施設の具体的な内容につきましては皆さんの意見も参考にさせていただきながら、決定していきたいと考えています。
	2	泉幼稚園跡地、前市長の意向で児童館が1つしかありませんが、邑上市長の公約でもありますので、是非児童館を作ってください。きちんとした責任を持った専門職の方を入れてください。	
	3	泉跡地に児童青少年施設を作ってください。同時に入学児童の親子や高齢者の方も使用できる複合施設とし、地域のコミュニティの拠点となるものをお願いします。こういった施設が出来た折には地域住民の一人として大いにご協力させていただきます。	
	4	泉幼稚園跡地に子どもからお年寄りが集える複合施設を作ってほしい。	
	5	泉幼稚園跡地を、ぜひ中学生、高校生の集える場所にしてください。	

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
泉幼稚園跡地利用	6	建物が出来るまでの間、有効な利用が出来るようにしてほしい。部分的に開放日を作っていただくなど。	暫定利用につきましては、市民の要望等を尊重し、関係部署と調整しながら有効利用を考えたいと思います。
学童クラブ	1	私立小学校に通う児童も学童クラブで受け入れてほしい。 ・同じ条件で市に在住しているのに公立私立で区別する理由がわかりません。 ・きょうだい児の介護などあり、学童がなければ安心して健全な子育てが出来ません。	現在学童クラブは、1学校区に1箇所設置し、各小学校のカリキュラム(授業時間、行事等)に合わせて運営しており、私立小学校に通う児童を受け入れるのは現時点では難しいと考えています。一方、地域子ども館「あそべえ」についても、小学生の放課後や土曜日等の安全な居場所として、全12校に設置しています。その学区の小中学生であれば、私立や国立の小学校の児童も参加できるようになっておりますので、ぜひ「あそべえ」をご利用いただきたいと存じます。
	2	私立の小学校に通う子どもたちも、市の学童保育に入れてください！ どうして同じ市の子なのに違う対応なの？	
小・中学校教育	1	児童の登下校時の安全確保のため、市および地域の連携(例えば、A型バリケードの管理等)。公立中学校の選択制。	バリケードを路上に置くことは本来、道路交通法で禁止されています。そのため、地域住民の方の協力のもと、適正な管理ができるという条件において、バリケードを設置することとしています。 現状では指定学区制の下、小・中学校の学校の指定(変更)に関しては、「武蔵野市立学校の就学学校の指定の変更に関する要綱」で必要な事項を定めており、個々の児童・生徒の状況に応じて変更を認めています。学校が地域コミュニティの拠点であることを踏まえ、自由選択性については慎重に研究していきます。
	2	一小に6年と4年の男子が通学しています。塾に行ってる子が多いため、日頃の宿題も少ないですし、夏休みの宿題は「家庭で相談して決める」というものです。塾に行っていない子はどうなるのか、宿題を堂々と出せなくて教育は出来ないと思います。	塾に通っているか否かに関わりなく、児童一人一人にしっかりと学力をつけるよう、各学校では日々努力しています。宿題を出すこともそのための有効な手段の一つですので、子供にとっての加重負担にならないよう内容や量に配慮しながら学校では取り組んでおります。
青少年施策	1	青少年の居場所は必要だが、ソフト面をきちんとさせてから。 市まかせではなく、市民が運営する。 子どもたちへの対応がきちんとできる専門職員をつけること。	現在、中高生の居場所として中高生リーダー講習会を実施し、様々な地域活動への参加を促し、青少年自身の育ちと自主性を尊重した活動が行えるよう支援しています。現在計画している武蔵野プレイス(仮称)においても、青少年の居場所に当たる部分の企画・運営に青少年が携わるような仕組みを検討していきたいと考えています。
	2	旧中央図書館を児童館にしてほしい。 あるいは保育園に！	旧中央図書館につきましては、耐震上の問題がありますので、これを何か別の用途に転用するという考えはありません。今後の利用につきましては調整計画で方向性を出していきたいと考えています。

③緑・環境・市民生活

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
ごみ・環境	1	武蔵野市内の全面禁煙化。 監視員は繁華街以外も見回るべき。	市内全域を禁煙地区に指定した場合には、違反者に対しての実効性を担保する体制が必要となります。市では禁煙地区の指定にあたり、エリア内の商店会や住民団体等と協働による活動を基本としておりますので、地域の皆さんと協働体制が確立されれば必要に応じて適宜対応してまいります。また、監視員については全域を巡回しても費用対効果が見込めないのではないかと考えます。
	2	煙草のポイ捨てが多いので、条例にて禁止してください。	市内三駅周辺の路上禁煙地区においては、歩行喫煙者やたばこの吸殻が70%以上減少しております。マナーに訴える施策は、商店会や市民団体等と行政で組織している「ようこそ美しいまち委員会」において決定されたものであり、改善効果も大きく、現在は条例制定は考えておりません。
	3	可燃ごみの半分近くの生ごみ減量化。 市と協働で推進できたら。 クリーンむさしの 生ごみチーム	生ごみの減量について、市では、水切りのほか、野菜くずを乾燥させたり、ごみを出さない調理方法等の啓発をしています。家庭用生ごみ処理機の購入費補助も行っています。また、クリーンむさしのを推進する会とも連携をとりながら、コンポスターの普及等ごみの減量についての啓発を行っています。
	4	ペットに関する規制を強化すべき。 犬の「尿」の清掃を行うべき。 武蔵野一中のグラウンド裏。	動物愛護管理法第7条には、人に迷惑を及ぼすことのないように努めなければならないと明記されています。また、東京都動物愛護推進総合基本計画で、東京都は飼い主の資質向上と地域住民の動物への理解を図るため、飼い主に適正飼養責務の自覚を促し、動物への理解を深められるよう、的確な情報を提供するものとされ、区市町村による動物愛護管理施策やボランティアの活動を支えるとしています。そこで、市では東京都と共に、糞尿の始末を始め、終生飼育、繁殖、動物由来感染症、所有者を明らかにすること等、飼い主が自覚できるようPRに努めます。
緑・公園	1	北町3-5と3-4の成蹊通り、今は通り抜け出来ないため、けやきと樺の街路樹の緑のゆったりした空間が残っています。 "ととの森" という人もいます。是非このまま青梅街道につなげないでください。	交通処理機能の確保、都市間の交通ネットワークの形成、防災性の向上や扶桑通りなど生活道路へ進入する多くの通過交通を転換し、歩行者等の安全性を確保することなどから、都市計画道路の必要性は高いと認識しています。また、このような都市計画道路の整備に当たっては、周辺地域の環境に配慮した道路づくりを行います。
	2	緑・公園の使用について希望をいたします。 ラジオ体操会場としまして横河公園中町2-13を使用許可を取りまして、半年ごとの申請をしておりますが、是非一年ごとの申請に希望したく会員全員のお願いでございます。どうぞよろしく願いいたします。 半年申請を一年間として希望いたします。介護のお世話にならないように、皆、明るく健康にを目的としています。	公園は、本来誰でもいつでも利用できることを原則とした公の施設です。そのため、特定の団体が公園を独占して使用することは本来の趣旨と異なるため、使用の目的・期間等の状況によって、例外的に許可を出しています。年間使用の申請を年1回で希望する場合には、許可に当たり諸条件がありますので、個別に緑化環境センターにご相談ください。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
緑・公園	3	中央通り桜、残念です。常に気をつけて見 ていますが殆ど肥料もあげていません。 緑化公園係では筒状の肥料を与えていま すといわれますが4年ほど前に1度見たき りです。	一般的にさくら(ソメイヨシノ)の寿命は、約60年と言わ れ、この中央通りのさくらは樹齢約55年以上を経過した 老木であります。以前から主幹の傾きや、支柱設置など の安全面において支障となる樹木が目立ち始めたことか ら、樹木医によるモニタリング・治療を施してきました。ご 指摘の治療もその一種ではありますが、街路樹という苛 酷な環境や老木には効果があまり期待できないなどの 見解もあり、専門家とともに適正な維持管理を追求して きました。昨年、安全・安心の観点から、街路樹精密診 断を行いました。倒木の恐れのあるさくらが数本発見 されましたので、支障となる樹木の伐採・抜根・新植を 実施いたします。今後も、適切な維持管理を計画的に行 い、この貴重な桜並木の保全に努めます。
	4	公園には公衆トイレを！	トイレの設置は、概ね5,000㎡以上の公園で、長時間滞 在型の利用形態やイベント等の会場として、集中的に多 くの市民利用が予想される場所等であり、なおかつ周辺 住民の理解が得られた公園に配置しています。公園の ユニバーサルデザインの観点から、特に高齢者や障が いを持つ方への配慮として、一定の規模の場所にはトイレ が必要であると認識していますが、設置にあたり周辺 住民の理解を得ることは難しく、市内159箇所のすべての 公園にトイレを設置するのは難しいと考えます。
市民活動 (コミセン・NPO・交流)	1	<コミュニティ協議会の自主三原則につい て> 地域の自治活動・まちづくりが前提である ことを研連会議等の場を経て明確にすべ きである。	自主三原則はコミュニティづくりの原則であり、市民の皆 さんが自由にのびのびと活動していくための保証のよう なものですので、堅持していくつもりですが、コミュニティ 構想も策定から35年経過しておりますので、コミュニティ 研究連絡会の会員さんとも研究をしてみたいです。
	2	中央コミセン エレベーター他昇降するに高齢者は困る のでぜひご検討ください。	中央コミュニティセンターは、3階建てのためエレベ ーターは必要かと思いますが、建物の構造上の問題と建 築基準法の双方で難しい状況です。そのため、別の昇降 方法を現在検討中です。
	3	中央コミセンの建て替えを早々にお願い いたします。無理ならば早々にエレベ ーターの設置をお願いします。	中央コミセンの建物は築33年ですので、耐用年数から見 ますと、まだ暫くは使用することになります。エレベ ーターにつきましては、構造上の問題と建築基準法の双方で難 しい状況ですので、別の昇降方法を現在検討中です。
	4	コミュニティセンターの「私物化」が目立ち ます。もっと通気性のよい運営を！	コミュニティ16協議会から委員が参加してコミュニティの あり方を考える会「あり方懇談会」等で検討していただき たいと考えます。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
生涯学習・スポーツ	1	総合型地域スポーツクラブを検討してください。	総合型地域スポーツクラブは、「2010年までに各市区町村に少なくとも1つは育成する。」ことを、国のスポーツ振興基本計画に到達目標として掲げられているスポーツクラブです。 本市には、現在総合型地域スポーツクラブは設置されていませんが、来年度以降策定を予定している市のスポーツ振興計画(仮称)の中で、地域スポーツクラブについて検討する予定です。
	2	文化会館・美術館・市民のニーズと委員会の方々のお名前と立場等をくみ上げて企画していますか。そうした面での若い職員の感性・力等が生かされていないと思います。	事業を実施するにあたり、友の会会員等を対象にアンケートを実施するなど、多くの方の意見を参考に企画専門委員会等に諮り企画しています。今後も市民ニーズに応えるべく、優れた芸術文化の提供に努めてまいります。
	3	西部図書館なくさないで！	市では、平成22年度中の開館を目途として、JR武蔵境駅南口に、西部図書館を移転・拡充した図書館機能を中心とする青少年活動、市民活動、生涯学習の各支援機能をもった新しい公共施設(武蔵野プレイス(仮称))の建設を予定しています。西部図書館跡の利用については、今後検討してまいります。
	4	図書館がどうして市にあるすべてが金曜日に休館なの？交替で休んでください。	休館日を別々にした場合、現状では、図書館システムのトラブル対応要員を配置する必要があります。また、他の館からの取り寄せ又は回送資料が今より多少遅くなること予想されます。これらを踏まえながら、休館日につきましては、開館時間の延長、開館日数の増とともに考えてまいりたいと思います。
防災	1	基本的防災用品の入手を… 防災棟の完成を期に防災用品が常時展示されていて、手にとって見る事が出来、作動方法等もわかるように出来て、市民が基本的な防災用品を備えられるように。	市役所西棟1階に、武蔵野市民防災協会が移転してきました。こちらで、防災用品のあっせん販売をおこなっています。また、協会の防災用品のカタログ掲載品(一部を除く)は、常時展示していますので、実際に手にとっていただき、事務局員がご説明することも行っています。是非ご利用ください。
	2	地震のような大災害があったとき、私たちのような視覚障害者の世帯を始め、自らの手で脱出することが難しい人々への支援策はどうなっていますか。	市では現在、要援護者の把握と支援をおこなうネットワークづくりに向けて、モデル地区を選定して9月から避難支援モデル事業を行い、地域と関係機関が連携した仕組みづくり・個別の支援プランの策定を進めます。
	3	昨年大雨のとき、私の住んでいる北町4丁目の低い土地で、床下5～6cmとなりました。 その時、消防車も到着して何も出来ず、備置のポンプも30～40分作動せず、処理の遅さに呆れてしまった。 多分、ポンプは20年位前に設置されたもので、メンテはされているのか？又、誰が緊急時に対応するのか全く不明で住民に不安を与えた。	吉祥寺北町4-8の大野田ポンプ所は、都市整備部下水道課が管理しています。ポンプは、雨が一定程度降り、ポンプ所内の水槽の水位が上がるとフロートスイッチにより自動的に運転を開始します。さらに強い雨で水位が上がると、2台目・3台目のポンプが稼働する仕組みになっています。施設の機能を保持するため、年2回定期的に施設点検を行っております。また、大雨や台風の前にも運転状況等の巡視点検を行っております。

④都市基盤

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
都市景観・バリアフリー	1	公共施設に段差が多い(特に吉祥寺シアターなど) あまり段差が高いところは改善が必要	市有建物の建設に際しては、バリアフリーに関連する法令等を遵守していますが、既存施設については必ずしも現行基準に適合しているとはいえません。そこで不特定多数の市民の方が利用する施設につきましては、都条例に照らした調査を行い、エレベーターの設置など法的・構造的に改善が難しいものを除き、手すりの設置等、比較的簡便に整備できるものについては、改善を行なってまいりました。今後はエレベーターに代わる手段も検討してみたいと思います。 (吉祥寺シアターについては、「意見交換要旨」P.20『確認事項』に記載)
	2	吉祥寺駅にエレベーターを設置してほしい。 ◆重心児の娘を連れての利用が出来ません。	吉祥寺駅はJR東日本が駅舎の耐震工事に合わせ、エレベーターの設置工事を平成22年度までに行う予定です。市では、エレベーターについては、早期に設置するよう要請しています。
	3	中央コミセンのバリアフリー化はいつごろされるのですか。 車椅子の方にとっては、二階以上の使用は困難です。何とかありませんか。	現在、コミュニティセンター関係のバリアフリー化は、構造的にできる範囲で行っておりますが、エレベーターにつきましては、構造上の問題と建築基準法の双方で難しい状況ですので、別の昇降方法を現在検討中です。
	4	文化会館前の歩道のフラット化の工事修理をいつされるのですか。 乳母車、自動車、特に車椅子にとっては使用しにくい道路です。	市民文化会館西側及び北側の「舗石」については、降雨・降雪時に滑りにくく、周辺の修景にもマッチさせながら、今のような「ガタツキ」がなく車椅子も通れるように改善工事を行なっています。9月初旬に完成しました。
駅周辺整備	1	ツインタワーに保育所を設置してください。	市立保育所の設置予定はありませんが、現在事業者が認証保育所の設置を検討しています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
駅周辺整備	2	ツインタワーの階をなるべく低くしてほしい。	三鷹駅の北口地区については、三鷹駅南口とは異なり、駅周辺に緑が多いことが特徴となっております。そのため、通常の商業地域と異なり、建物周辺に広い空間を確保し、既存の樹木を保護するとともに、さらに多くの緑を確保し、特徴を活かした駅前空間を創出してまいりたいと考えております。環境、景観に関しましては建築物の高さのみで考えるのではなく、十分なオープンスペースの確保に伴う既存樹木の保存や近隣建物との離隔距離の確保、さらに壁状の建物と比較した場合の直近への日影時間や圧迫感の低減など、様々な視点からの検討が必要であると考えております。
	3	超高層マンションの高さを少しでも低くしてください。私は西久保に住んで40年以上になります。北村西望さんの像があるロータリーの緑とともに下の写真の景色が大好きです。超高層マンションでこのすばらしい空の景色を分断しないでほしいのです。後世の人々にもこの景色を残したい！！！！ よろしくをお願いします。	
	4	三鷹駅北口の商業地域の高さも含めた地域プラン(地区計画的なもの)をどのように考えているのか。 超高層マンション建設は、30年先を考えた構想としては失敗で、本当に慎重に考えて欲しい。(ゴーストタウン化するし、省エネに反する防災対応にも反する。)	
	5	三鷹駅前のツインタワー反対「高さ」に対する規制法案を早急に制定すべき。 理由 ・街の景観を台無しにする。 ・良好な風の流れを阻害する。 ・JRの混雑を助長する。	
	6	北口の開発という理由づけで超高層を容認するという考えは安易すぎると思います。完成するのは三年後です。超高層の問題点が少しずつ出てきつつある中、もう少し慎重に計画を考えてください。	

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
駅周辺整備	7	<p><三鷹駅北口超高層タワー建設計画について> これだけの大問題を7月25日の建築審査会は市民の公聴会での反対を無視してあっさり承認してしまった。しかし、市長は、市民が主役の街づくりを主張されている以上、市民の訴えを真剣に受け止め、デベロッパーを説得して計画の再検討に踏み切るよう、インフォーマルな努力を尽くしていただきたい。</p>	<p>今回の事業につきましては、市民参加で策定した「基本構想・長期計画」、「都市マスタープラン」や「駅前広場高度利用構想」などの市のまちづくりに関する計画との整合を図り、及び市のまちづくりに関する計画を事業に反映させるため、平成16年より二期にわたり「三鷹駅北口地区開発計画調査検討委員会」を設置し検討を重ねてまいりました。地区内に賑わいの空間を創出することにより、街の活性化を図りつつ、建物周辺に十分なオープンスペースを確保させ、防災面の向上や既存樹木の保全や更なる緑化を進め、合わせて放置自転車問題や駅前の交通問題など三鷹駅周辺の課題の解決するため、敷地内に一般の駐輪場の確保や道路用地の提供等、総合的なまちづくりの観点から15項目の基本方針をまとめ、昨年12月に市議会建設委員会へ報告し、事業者を指導してまいりました。 今回、市のまちづくり計画や基本方針と整合した計画となっていることから、総合的なまちづくりの視点で「宅地開発等指導要綱」の承認と「総合設計」の許可を下ろすこととしました。</p>
	8	<p><三鷹駅北口超高層タワー建設計画について> 超高層が周囲を圧迫する街の景観を拒絶する市民が多いという事実を市長は重く受け止め、デベロッパーのトップと、市民の望む街づくりのために計画を再検討する話し合いを是非進めていただきたい。法的な手続きに従っていさえすればよいという考えを捨てて欲しい。</p>	
	9	<p><三鷹北口超高層ツインタワー問題とデベロッパー> 野村不動産は40歳そこそこの副部長が本計画を取り仕切り、市民に対する説明にも上層部の人間は一度も出て来なかった。市長も野村の社長と1対1でお話し合いになったことがないのではないかと。武蔵野市の将来に重大な影響を及ぼす本計画について、武蔵野市はデベロッパーになめられているのではないかと。</p>	
	10	<p><ツインタワー計画のデベロッパーについて> 市民の会が3000名弱の署名をバックに、野村不動産の社長に2度も真剣な手紙を出したにも拘らず、何の返事もない。武蔵野市民のために仕事をするという社会的責任を少しも認識していないデベロッパーに武蔵野市の市街環境を決定する重大な計画を委ねてよいと、市長は本当に考えておられるのか。</p>	
	11	<p>街づくりにもっと関心をもってほしい。 (法政跡地、三鷹駅前などの高層マンションなど論外である。「已む無し」という言葉が多すぎませんか)</p>	

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
駅周辺整備	12	三鷹北口開発について 市は業者にどう指導をし、現状どこまで進んでいるのか。そして、今後の日程はどうなっているか。市長の考え方を聞きたい。	市のまちづくり方針と事業計画との整合や市街地環境の整備改善などの見地から、「宅地開発等指導要綱」と「三鷹駅北口地区の開発に係る基本方針」、「総合設計許可要綱」等に沿って様々な指導をするとともに、早期からの周辺住民への十分な説明についても指導しました。 平成19年8月24日付けで、「指導要綱」の承認と「総合設計」の許可を下りました。 日程は不明ですが、今後は、建築確認申請、確認済証交付、工事着手という流れとなります。
	13	三鷹の100mツインタワーの件、梅林と雑木林、本当に残念でした。貴重な緑が失われました。市が業者に、例えば地下に駐輪場を頼んだときいていますが、他にどんな要望を出していますか？	「三鷹駅北口地区の開発に係る基本方針」「宅地開発等指導要綱」「総合設計許可要綱」により、商業施設の確保、公共スペースの設置、道路用地の提供、駐輪場の確保、環境配慮、既存樹の保全と更なる緑化、安全確保と公害対策、十分なオープンスペースの確保、防災機能の強化、バリアフリー化、近隣住民への早期の説明等を指導しています。
	14	風害 三鷹の駅の近くに住んでいます。ビルの大きいのが沢山出来、歩くのが風で大変です。大通りも裏通りも歩けません。ツインタワーはよく検討してください。	ビル風対策につきましては、事業者に対し風洞実験などの事前調査をさせ、建物の形状の変更及び既存樹の保存や街路樹の新植により、風の影響を最小限に抑えるよう指導しています。事業者の計画では、風工学研究所の風環境評価基準に基づき風洞実験の結果を評価し、住宅地・市街地としての風環境を満たすための低減策を講じております。風の影響に関しましては、今後も近隣の皆様に対し十分理解が得られるよう説明を行うように指導してまいります。
	15	住民が反対する高層マンション構想が山積するのは自治体として「立法」「行政」機能の欠如ではないでしょうか。	計画地における法的規制に加え、市のまちづくりに関する計画や方針に沿うよう、「宅地開発等指導要綱」等に基づき指導しています。 また、現在策定作業中の「まちづくり条例」では、早期の情報提供や住民からの意見を集約する仕組みについて検討しています。
	16	駅前ロータリーの美しさを保つために、むやみに市の行事の宣伝の大きな横断幕を張らないでください。もう少し工夫してください。ロータリーは武蔵野市の顔です。第一印象を良くすることは武蔵野市の価値を高めると思います。	駅前ロータリーの横断幕については、今後、美観や周辺環境との調和などについて工夫していきたいと考えています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
自転車	1	「市」が主張するほどには自転車のマナー、安全遵守が向上しているとは思えない。端的に言えば「何も変わっていない」。	自転車利用マナーが悪い、暴走自転車が多いという意見が多数寄せられています。そのため、昨年、大学生や高校生にも参加してもらい、自転車安全利用促進検討会を設置し、その提言を受けております。それを踏まえて、市では現在、ルール周知やマナーアップのための施策を検討しております。例えば、安全講習会を実施し、その受講者へは、駐輪場の優先利用などの優遇処置など考えられます。また、現在警察においては、夜間の無灯火や二人乗り等の指導、取締りの強化を図っております。
	2	自転車の安全対策について。	
	3	住宅地を暴走、通り抜ける自転車の取り締まり。	
	4	ただですら狭い武蔵野市の歩道を自転車と住み分けるのは無理であり、改めて「歩行者専用」とし、高齢者と幼児に限り通行可能とすべき。	市内の歩道を全て歩行者専用にするということは、交通規制として東京都公安委員会の管轄事項となりますが、道路に自転車の通行を促すところを明示するなど、市としましては自転車の走行環境についての工夫をしていきたいと思っております。
	5	駐輪場をもっと整備すべき。吉祥寺の歩道駐輪場は廃止すべき。中古ビル・マンションを買い取り内部改装の上で駐輪場とすべき。地下駐輪場は、コスト、即効性を考えねば現実的でない。	駐輪場については、三鷹駅に限らず、市内の三駅について大きな課題になっております。今後も駐輪場用地等の確保に努めると共に、現在、平置きになっている既設駐輪場の立体的利用についても、その可能性を含め、大いに考えていきたいと思っております。なお、歩道の駐輪場については、あくまで暫定であり、将来は廃止の方向で考えています。
	6	駅前駐輪場の場所(平置き)を有効活用を！	
	7	駅前駐輪場を立体化してほしい。	
	8	自転車の保有を市の登録制とすべき。不法駐輪、不法投棄、窃盗等に効果があるはず。	自転車利用者は、その利用する自転車について、防犯登録を受けなければならないこととなっておりますが、市への登録制も、良いアイデアだと思います。今後の研究課題といたします。
	9	中央通りストアー前の歩道ですが、市の駐輪車とストアーに買い物にきた自転車で歩道がふさがれています。両方の自転車がお互いにお尻を向けていますので歩道が極端に狭くなっています。	ご指摘の店舗に対しては、以前より、店舗裏側等に、買い物客用駐輪場の設置について要請しています。同店舗からも検討はすると回答を得ておりますが、なかなか実現に至りません。今後も粘り強く要請してまいります。また、市としても、当該歩道の放置自転車に対しては、引き続き啓発、撤去等行ってまいります。
	10	自転車駐輪場をふやしてほしい。三鷹駅に有人の駐輪場があるが、あのような設備をきちんと作って。利用者は料金をきちんと払うべき。新築マンションに頼るべきでない。市の努力を。	三鷹駅に限らず、市内3駅全てにおいて駐輪場が不足しており、皆様にご迷惑をおかけしております。市では、用地の確保等、駐輪場の増設に向け努力しておりますが、なかなか難しい状況です。今後も、市の関係各課で連携し、用地等の確保に鋭意努めていくと共に、平置き利用をしている既存駐輪場の立体的利用についても、可能性を含め、大いに考えていきたいと思っております。
	11	自転車の駐輪場の整備をしてほしい。	

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
自転車	12	自転車の整理の方は、前の会社の人たちは日曜日の朝、自転車が少ない時間に竹箒で歩道を掃いていました。現在は掃きませんが契約が違うのですか。	今の業者も、放置防止指導業務として委託しており、以前よりも、放置防止指導、啓発、撤去等の強化を図っております。特に、撤去台数は、例年の1.5倍強行っています。また、放置の多い場所には常駐し、指導を行っています。その結果、放置台数は減少傾向にあります。なお、駐輪場内の清掃については、委託の内に含まれていますが、他の歩道等については、含まれておりません。
	13	三鷹北口駅前の違法駐輪が目立つが、改善が見られない。特に白木屋前の通り。改善を望む。	今年から、特に放置防止指導、撤去等の強化を図っており、三鷹駅周辺全体では、放置自転車は減少傾向にあります。ご指摘の場所についても、更に、撤去等行い、歩行空間等の確保に努めてまいります。
	14	放置自転車のリサイクルについて市の所有となり業者に売却している放置自転車の一部をシルバーのリサイクルにも“特価”で売却してほしい。隣の三鷹市はリサイクル作業所を新築し、リサイクル事業に積極的に取り組んでいます。武蔵野市の最近のシルバー・リサイクル事業に対する施策は消極的である。何とかもっと積極的に取り組んでほしい！！ お願いします。	自転車条例で、放置で撤去した自転車は一定期間保管し、返還できない自転車等は売却することができることであり、その自転車は、競争入札により売却しております。売却先を特定するのは、多々難しい面もありますので、今後の研究課題としてまいります。
道路	1	自転車レーン設置を。歩・輪分割。	市内の道路は幅が狭く、法令や基準を満たす正規の自転車レーンの設置は難しい状況です。しかし、正規なものでも、道路に自転車の通行を促すところを明示するなど、自転車の走行環境については工夫をしていきたいと思っております。

⑤行・財政

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
効率的な行政運営	1	「邑上市長に代わってから、老人の会合に出席しても弁当が出なくなった。武老連の多くの老人会でも同じ不満が鬱積している。このままでは邑上市長は次のセンキョに負けちゃうよ…」という親切な警告を頂いた。小さな支出をケチって大きな災いを招くなかれ！	老人クラブの補助金の使途については、一定の基準に基づき各老人クラブが決めています。情勢として食糧費は最小限に止める傾向にあるようです。なお、老人クラブに対する市の補助金額には変更ありません。
	2	無駄な出費を抑え住民サービスの充実を図ってほしい。 ～住民税の減税を検討していただきたい～	「武蔵野市行財政改革集中プラン」に沿って歳出の見直しを着実に実行しております。また、現在、事務事業の見直し及び補助金の見直しを第三者による委員会で行っております。引き続き財政運営の健全性の維持を図ってまいります。

⑥その他

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
	1	若い者が住める街を！！ 税金を増すためにも。(例)高い家借の補助。市営住宅入居を優先的に。 子どもを安心してあずけられる保育園。児童館をせめて後3ヶ所作ってください。	市営住宅には若年ファミリー向け住宅はありませんが、公的賃貸住宅としては、都営住宅には、若年ファミリー向け10年間定期使用住宅が、また、都民住宅には、収入に応じた家賃補助があるものがあります。ご指摘の若年世帯については、今後の住宅政策を進める上での課題のひとつとして研究してゆきたいと考えます。 現在市には、公立・私立合わせて14園の認可保育園があります。また、東京都認証保育所5施設、家庭福祉員6人がおります。待機児の状況等を見ながら、今後も保育施設の充実に努めていきたいと思っております。 児童館は現在1館だけですが、今後のあり方、全市的な展開等については、「あそべえ」「0123子育て支援施設」との関連を整理するとともに、調整計画を策定する中で市民の皆さんのご意見をうかがいながら検討していきます。
	2	強いリーダーシップを持って政権公約を果たしてほしい。	市長になって2年が過ぎました。さらに公約実現に向け努力します。
	3	I)シルバーの建家について 3月末のシルバー人材センターの定期総会に於いて、当日、市から派遣された“局長代理”は、シルバーが利用している建家は「建築法違反である」旨の発言がありました。 ①違法内容は？ ②これに対し市の対応策は？ II)シルバーの「リサイクル事業」について リサイクル前後の品物の保管管理「倉庫」について 過去、関前の自転車収集車の置き場の建家の一部や廃校小学校、市所有の民家の空家等を倉庫として利用していた。現在、全部利用できなくなり、毎日大変苦労しております。 市としてリサイクル事業をどのように考えているのか？	I)シルバー人材センターが利用している福祉保健部分館の敷地は、他に中央コミセンと市民文化会館の駐輪場(屋根付き)として利用されています。その結果建ぺい率等が建築基準法の規定に適合しておらず、大規模な改修が出来ない状況です。中央コミセン側からも改修の要望がありますので、大規模な改修にならない方法でご要望に沿うような解決策を検討しています。 II)リサイクル事業に伴うリサイクル品の保管管理場所については、全部なくなったわけではなく、現在、市所有の民家を倉庫として利用しています。ただし、手狭なため保管場所の拡大を図る上からも市関連施設等も含め保管場所の検討を行っているところです。 リサイクル事業については、就業開拓推進の一環として、また、ごみ問題の市民の意識向上と資源の有効活用を図るための事業として、引き続き円滑な事業の運営を図ってまいります。
	4	済みません。 いつも有り難う御座居ます。 ー市民より	—

市民と市長のタウンミーティング

第14回

主役は市民です

タウンミーティングは、市民の皆様と市長が地域の課題や市政について意見を交換する会です。

お気軽にご参加いただき、あなたの声をお聞かせください。

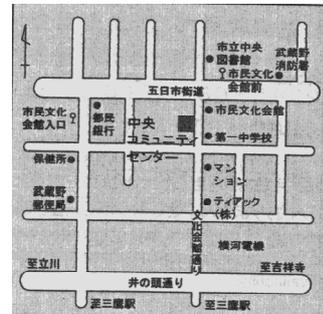
●期日 平成19年8月1日(水)

●時間 午後6時30分から9時

●会場 中央コミュニティ
センター

武蔵野市中町3-5-17

電話 0422-53-3934



- ◆内 容 会の前半は、「中央コミセンエリア地域のまちづくり」をテーマに、後半は市政全般について話し合います。
- ◆出席者 市民の皆様（どなたでも）、邑上守正市長
中央コミュニティ協議会、市関連部長
- ◆申 込 当日、直接会場へお越しください。
- ◆主 催 武蔵野市・中央コミュニティ協議会（共催）

*お車でのご来場はご遠慮ください。

*タウンミーティングは議会開催月（3、6、9、12月）を除く毎月、年8回、市内各コミュニティセンターで開催する予定です。

問い合わせ◎武蔵野市企画政策室市民協働推進課
Tel.0422-60-1829 Fax.0422-51-2000

市民と市長のタウンミーティング

平成19年8月1日(水) 午後6時30分から
中央コミュニティセンター(ロビー)にて

第一部 お～いにディスカッション

「私たちの好きな町は私たちで」

😊 安心・安全なまちづくり

- ・ 中央エリアを災害に強いまちに。
- ・ 自転車問題の解決。

😊 子どもから高齢者まで 笑顔でらせるまちづくり

- ・ 中学生・高校生の居場所を。
- ・ 若い人が永住してくれるようなまちづくりと対策を。
- ・ 泉幼稚園跡地利用について。
- ・ 子どもから高齢者まで安心して遊べる公園を。

😊 住みよい環境づくり

- ・ 中央コミセンのバリアフリー化。エレベーター設置。建替えの要望。
- ・ 人にやさしい歩道を。
- ・ 路上禁煙エリアの拡大を。
- ・ 駅前のツインタワーについて。



☆当日参加できない方で、市長にご意見・ご要望がある方は、下記の枠内にお書きになり、中央コミセンまでお届けいただくか、ファックスでお送りください。

.....

.....

.....

※当日は休館日ですので、通常の利用は出来ません。

第14回

市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成19年10月

武蔵野市企画政策室市民協働推進課

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)